

船舶事故調査報告書

令和元年11月20日
運輸安全委員会（海事専門部会）議決

事故種類	衝突（岸壁）
発生日時	令和元年6月28日 15時00分ごろ
発生場所	北海道苫小牧市苫小牧港第4区中央ふ頭2号バース 開発局苫小牧港東港区中防波堤灯台から真方位023° 1.45海里付近 (概位 北緯42° 36.5′ 東経141° 46.9′)
事故の概要	貨物船 ^{ベガ} VEGA ^{カッパ} KAPPAは、離岸作業中、岸壁に衝突した。
事故調査の経過	令和元年6月28日、主管調査官（函館事務所）を指名 原因関係者から意見聴取実施済
事実情報 船種船名、総トン数 船舶番号、船舶所有者等	貨物船 VEGA KAPPA（リベリア共和国籍）、9,940トン 9330252（IMO番号）、VEGA KAPPA SHIPPING COMPANY LIMITED
乗組員等に関する情報	船長（フィリピン共和国籍）、免状不詳
負傷者	なし
損傷	本船 右舷船尾部外板に擦過傷 岸壁等 岸壁の車止めに破損、ガントリークレーンの電源ケーブル巻取り部に凹損
気象・海象	気象：天気 曇り、風向 南西、風力 4、視界 良好 海象：海上 平穏
事故の経過	本船は、船長ほか17人（全員フィリピン共和国籍）が乗り組み、入船右舷着けで係留していた苫小牧港第4区中央ふ頭2号バース（以下「本件岸壁」という。）から、離岸操船を始めた。 本船は、船尾を本件岸壁から離れた後、続いて船首を離そうとしてバウスラストを使用したところ、南西風が強まり、岸壁方向に圧流されて右舷船尾部が本件岸壁に衝突した。 本船は、再度接岸し、タグボート1隻を使用して苫小牧港を出港した。
分析	本船は、風力4の風が吹く状況下、タグボートを使用せずに離岸作業中、一時的に増勢した南西風により岸壁方向に圧流されたことから、本件岸壁に衝突したものと考えられる。
原因	本事故は、風力4の風が吹く状況下、本船が、タグボートを使用せずに離岸作業中、一時的に増勢した南西風により岸壁方向に圧流されたため、本件岸壁に衝突したものと考えられる。
再発防止策	今後の同種事故等の再発防止に役立つ事項として、次のことが考えられる。 ・ 離岸操船中、強い風を受ける場合、風の影響を考慮してタグボ-

	トを併用すること。
--	-----------